

# みみだより

松江ろう学校 支援部

No. R1-1 2019. 6. 5

今年度も、補聴器等の機器に関する情報、自立活動の取組、研修の報告など聴覚障がいの子どもとかわる上で役立つ、みみよりの情報を『みみだより』で提供していきたいと思ひます。

## 補聴器・人工内耳の管理について

暑くなり、汗をかくことも増えてきました。補聴器・人工内耳にとって水分や汗は大敵です。この機会に改めて補聴器・人工内耳の管理について確認していただけたらと思ひます。

### ①補聴器・人工内耳の汗対策

汗をかくと、補聴器・人工内耳に汗が付き、内部に入ると、故障の原因になります。

#### ●汗をふき取る

汗をかいた後は必ず、耳の後ろの汗をふきましよう。補聴器・人工内耳についた汗も、乾いた布で拭き取りましよう。

#### ●乾燥させる

使わない時は乾燥ケースに入れて保管ましよう。

#### ●カバーを使う

補聴器や人工内耳用のカバーをつけることも有効です。布のカバーの場合、カバーが濡れたら、カバーを外すか乾いたカバーに替えるようにましよう。

(濡れたカバーをそのままつけておくと、大変な湿気の中に補聴器を入れていることになり、意味がありません。)

※電池に汗がつくことで、電池室が錆びることがあります。電池もきれいにしておましよう。

校内の4ヶ所に補聴器・人工内耳乾燥器を設置しています。休校時等に使用できます。



### ②補聴器・人工内耳のお手入れ

#### ●本体

汚れは、乾いた布等で拭き取りましよう。

#### ●イヤモールド

表面の汚れはティッシュ等で拭き取りましよう。イヤモールドの中は、綿棒や歯間ブラシ、ティッシュをこよりにしたものを使って汚れや水分を取り除きましよう。

定期的に水洗いをましよう。水洗い後は、チューブの中にたまった水をすべて吹き飛ばし、まだ残っている場合は、綿棒やティッシュをこよりにしたものを使って取り除きましよう。表面はタオル等でふき、しっかりと自然乾燥させましよう。



いつもよい状態に保つため、日々のお手入れが大切です。きこえを助けてくれる補聴器・人工内耳を大切にましよう！

## 第1回 世界ろう室内競技大会に出場して

高等部3年須山さんが、日本代表として出場しました。須山さんが大会を通じて感じたことを紹介ましよう。

2019年3月14日から17日までの間、北ヨーロッパにあるエストニア共和国で開催された第1回世界ろう室内競技大会に出場しました。この大会では、同じ障がいのある様々な国の選手と出会うことができました。それぞれの国の言葉があり、私にはその言葉の意味が理解できませんでしたが、国際手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとろうとすると、相手も笑顔で答えてくれました。私は他の人に比べて聞こえにくいけれど、相手に自分の思いを伝えたい、自分の言葉で交流したい、という気持ちをもつようになりました。この経験を自分の将来に置き換えて考えるようになりました。ろう学校を卒業し、社会に出ると、健聴者が多く、私の聞こえの状態を知らないことが当たり前になります。そんなときに、周りの人が話しかけてくれることを待ち続けてはいけなと思ひました。おそらく、周りの人もどのように私と接すればいいか、わからないことに気づきました。まずは、私の聞こえの状態を伝え、理解してもらい、生活しやすい環境を自ら整えていくことが大切だと思ひました。社会人になるまでに、健聴者の方たちとコミュニケーションをとれるように、受け身の自分の姿勢を少しずつ変えていきたいと考えるようになりました。この大会に出場したことで、考え方の視点を広げることができるようになりました。